

陸上競技 新型コロナウイルス感染症対策

○出場に際しての提出書類

- ・ 出場者は令和4年度茨城県障害者スポーツ大会指定の様式「体調チェックシート」を当日必ず提出すること。提出しない競技者は出場を認めない。なお、チェックリストの中に、一つでもチェック項目があった場合、また記入漏れや検温忘れがあった場合も出場を認めないものとする。
- ・ 競技会終了後、2週間以内に感染および感染が疑われる症状が発生した場合は、最寄りの保健所に報告・相談後、速やかに事務局まで連絡をすること。
- ・ 「体調チェックシート」は、令和4年度茨城県障害者スポーツ大会 ([茨城県障害者スポーツ大会について／茨城県 \(pref.ibaraki.jp\)](http://pref.ibaraki.jp)) からダウンロードすること。

○以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。

- ・ 体調がよくない場合。(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

○感染予防策

- ・ 競技者並びに、関係者の健康面を配慮し、原則として無観客とする（大会関係者・介助者・引率者等は除く）
- ・ 他の参加者との接触機会を出来る限り減らすため競技時間に合わせて集合し、競技終了後解散とする。
- ・ 競技中（ウォーミングアップ・クールダウン含む）以外はマスクを着用し、手洗い・洗顔・手指消毒を徹底すること・他の参加者との距離はできる限り（2m以上）とるようにすること。（介助者等は除く）
- ・ 運動中に唾や痰を吐くことは行わないこと。
- ・ 用器具の消毒を頻繁に行うこと。（例：1人ずつ使用したら消毒する等）
- ・ スターティングブロック・投てき物・跳躍種目のマットなどの用器具の共用は可能とするが、感染経路となりうるため、共用記具に触れた場合は、触れた手等で顔などを触らぬように注意し、競技終了後、手洗い・洗顔・消毒を実施すること。
- ・ 競技中・フィニッシュ後に倒れこんだ競技者のケアは、防護体制（マスク、フェイスシールド、使い捨て手袋等）を整えたスタッフで対応すること。（防護体制に必要な物品は事務局で準備をする）
- ・ 競技役員は、マスクを必ず着用すること。
- ・ 唾液等の分泌液については、防護対策を整えたスタッフが処理すること。

※この感染症対策については、日本陸上競技連盟のマニュアルに基づき作成しています。

※今後も、新型コロナウイルス感染症の動向を予測することは困難な状況です。

上記の対応は、現時点のものとなっておりますので、今後の状況に応じて変更等があり得ることにご留意をお願いいたします。